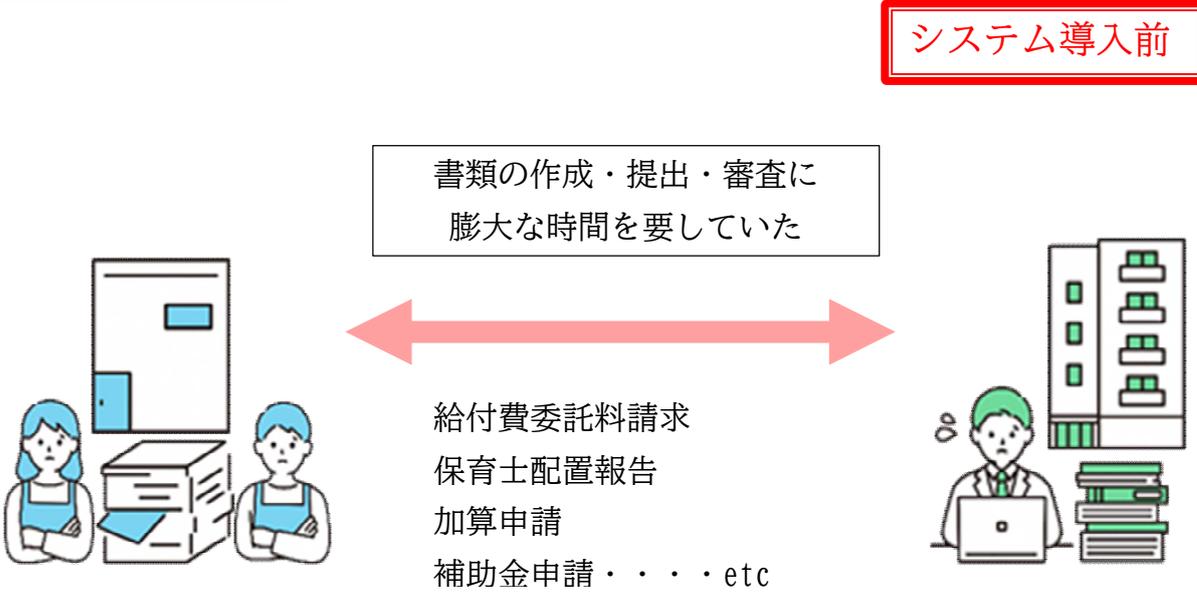


# 「米子市子育てクラウドシステム事業」の概要

## 1. 導入の目的

本事業は、市内の保育施設と市役所が抱える深刻な事務負担をデジタル技術で解消し、保育士が子どもたちと向き合う時間を創出することで、保育の質そのものを向上させる戦略的な取り組みです。

### (1) システム導入前の課題



保育施設の課題	市役所の課題
・書類の作成や修正に膨大な時間がかかる	・膨大な量の書類を目で確認する必要がある
・給付費や補助金の制度が複雑で理解が難しい	・電話、メール、郵送など連絡手段が多様で煩雑
・事務作業の増加が保育士の負担になっている	・Excel 等での管理により業務が属人化しがちである

### ■ 導入前における「事務負担」の構造的課題

保育施設と市役所の双方が、膨大な紙書類の作成や目視確認といったアナログ業務に忙殺され、複雑な制度運用による「業務の属人化」リスクも抱えていました。こうした過重な事務負担が保育士の時間を奪い、本来最優先すべき「子どもと向き合う時間」の確保を阻害する大きな要因となっていました。

## 2. 子育てクラウドシステムで何が変わるのか

システム導入後



これまで紙やメールで個別に処理されていた煩雑な事務手続きを、単一のクラウドプラットフォームに集約・自動化する。これにより、保育施設と市役所双方の業務をワンストップで完結させることで効率化することが可能となる。

### (1) 主な機能と導入目的

#### 1. 給付費・補助金申請の「自動計算・オンライン完結」

システムが給付金額等を自動計算し、申請から審査までのフローをすべてクラウド上で完結させます。これにより、手計算によるヒューマンエラーを排除し、書類のやり取りや修正にかかるタイムロスを大幅に削減します。

#### 2. 加算認定・職員配置の「自動判定・最適化サポート」

複雑な加算要件や職員配置基準への適合状況をシステムが自動判定します。難解な制度理解にかかる現場の負担を軽減し、適正な人員配置に基づいた正確な申請を後押しします。

#### 3. 書類提出・情報共有の「ペーパーレス・一元化」

管内施設とのあらゆる書類授受をデータ化し、クラウド上で一元管理します。印刷・郵送の手間やコストを廃するとともに、市役所側での検索・管理業務も格段に効率化されます。